

2020年1月29日

京王プラザホテル ニュースリリース

 京王プラザホテル フィーチャー100
 ～おもてなしの裏側にある、ちょっといい話～

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：山本護）は、2021年に開業50周年を迎えます。そこで、世界各国からお客様をお迎えし、心に寄り添うサービスを提供するホテルとして、私たちのおもてなしに秘められたエピソードを100回シリーズでお届けしてまいります。

■VOL. 58 歴史も想いも宿る、バンケットルームの名称

京王プラザホテル本館に30室あるバンケットルーム、その名称にはフロアごとに共通するテーマがあるのをお気づきですか？実は高層階には山や空を、4階には花や樹木をモチーフにした名前がつけられているのです。

日本初の超高層ホテルとして開業した当時、高層階から見晴らす美しい眺望は何より人々を魅了するものでした。その想いを込め、さらにバンケットルームにご来館くださるお客様へのわかりやすさを第一にと考案されたのが、階層と自然の情景をリンクさせたテーマ設定によるネーミングでした。

42階は「富士」「高尾」「御岳」…などホテルから望める山の名を漢字で、43階は「スターライト」「ムーンライト」「スバル」…など夜空の名前をカタカナで。また開業時は展望室として賑わった最上階の47階は、1991年の新都庁舎誕生とともにバンケットルームに姿を変え、「あさひ」「ひかり」「あけぼの」など昼間の空の名前がひらがなで名付けられました。当時を知るスタッフは「時間がたってみると本当にいい名前を付けたと思います。日本のホテルらしいのも好評で、海外のお客様に言葉の意味をお伝えすることもあるんです」と語ります。バンケットルームの名前ひとつにも、京王プラザホテルのおもてなしの心が伝わるエピソードです。



43階宴会場<ムーンライト>

■VOL. 59 ホテルバーテンダーの第一歩は髪形から

確かな技術と上質なおもてなしで、国内をはじめ海外からも高い評価をいただく京王プラザホテルのバーテンダー。その華麗なパフォーマンスと清潔感あふれる身のこなしに憧れて、ホテルバーテンダーを目指す若者たちが入社後まず洗礼を受けるのが、代々の先輩バーテンダーから受け継がれる特別な髪形です。専用器具と専用クリームで、カクテルを作る際にも一糸乱れぬようにかっちり整えられたスタイルを作るのが京王プラザホテル流。ドライヤーのあて方など、細かなところまで更衣室で先輩が伝授するのだそうです。

国内外で行われるカクテルコンペティションの場でも、その髪形でホテル名がわかると言われるほど。バーテンダーのヘアスタイルがホテルの代名詞になるなんて、ちょっとユニークなエピソードですね。業界を牽引するリーディングバーテンダーが数多くいることで注目を集める京王プラザホテル。身だしなみのなかでも一層の情熱が注がれるその髪形には、輝かしい伝統を担うホテルバーテンダーとしての誇りが宿っているのかもしれない。



本件に関するお問合せ先：

株式会社京王プラザホテル 営業戦略室 企画広報 杉浦 陽子・小田 力・濱谷 愛美

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1 www.keioplaza.co.jp

Tel 03-5322-8010 Fax 03-3346-2479